

逆性石鹼とマイクロ水酸化カルシウムの 混合の鶏舎消毒効果

〔分類〕 研究 〔所属名〕 畜産試験場養鶏研究所

〔研究期間〕

令和6～7年度

〔背景とねらい〕

生産現場における疾病の低減、海外悪性伝染病の侵入防止のため開発された消毒強化技術（マイクロMIX法：逆性石鹼とマイクロ水酸化カルシウムの混合液）の効果を鶏舎で検証しました。

〔研究の成果〕

1. 消毒対象がベニヤ板である場合と、ブロックである場合を比較すると、ブロックの方が消毒後も細菌が残りやすくなりました。
2. 長靴などをマイクロMIX法で消毒する場合、できるだけ長靴の汚れを水洗した後に消毒することが望ましいと言えます（図1、図2）。
3. マイクロMIX法による鶏舎消毒では、鶏を鶏舎から出荷し、空舎時に、十分に水洗した後に実施することが有効です。
4. マイクロMIX法で鶏舎のコンクリート面を消毒する場合、細菌が残りやすいため、十分に水洗した後、複数回消毒することが望ましいと言えます。
5. マイクロMIX法で鶏舎を消毒する場合、液状消毒より発泡消毒が望ましいと言えます。

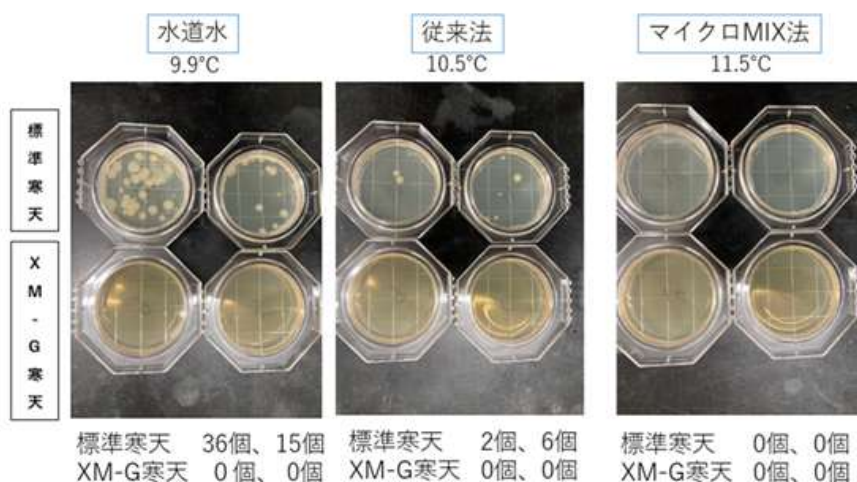


図1 各消毒槽に長靴を5回浸漬、消毒したアルミ板の上に置いたのち、アルミ板を各培地でスタンプ後、35℃、24時間培養後の状態

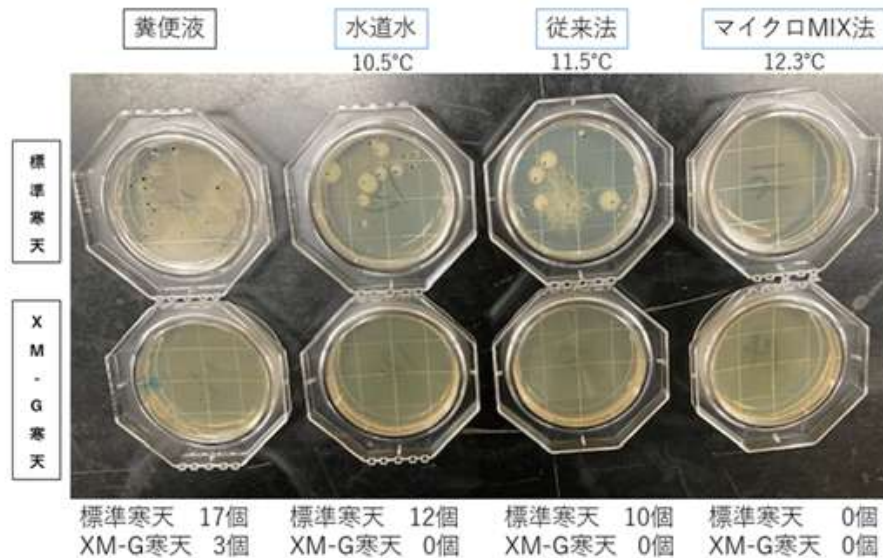


図2 長靴の底に糞便液を綿棒で塗布後、各消毒槽に長靴を5回浸漬
底を綿棒で拭いスタンプ培地に塗布後、35°C、24時間培養

[成果のポイントと活用]

- ・ 鶏舎のマイクロ MIX 法による消毒効果について、複数の条件で検討する必要があります。

[その他]

予算区分：外部資金（地方競馬全国協会畜産振興事業：（公社）畜産技術協会 委託研究）

問い合わせ先 TEL:0738-54-0144